



第18号

発行日 令和4年4月13日

発行元 三次市建設部都市建築課



尾関山ファンクラブ通信

会員数 114名
(R4.3.31現在)



第13回尾関山ファンクラブ活動のご案内



吹く風も爽やかな好季節を迎え、皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。まず、本通信並びに尾関山ファンクラブ活用がすっかりご無沙汰となってしまうこととお詫び申し上げます。

春の訪れとともに、心待ちにした尾関山公園の桜が咲きはじめたと思っていますと、すぐに満開を迎え、あっという間に散ってしまいました…。桜は地域や気候によって差がありますが、開花期間は一般的に約10日から2週間程度。満開になっている期間はわずか5日前後と、もう少しの間、咲いてほしいといった気持ちになります。桜は儂いからこそ美しいとも言われています。因みに散っていく桜は「零れ桜（こぼれざくら）」とも言われるようですが、その他にも、満開の桜は「花盛り」、花びらが舞い散るさまは、ご存じの方も多い「桜吹雪」、水面に散った花びらが吹き寄せられ流れていく様子は「花筏（はないかだ）」と、桜の様子を表す言葉や桜に例えられる言葉は昔から数多くあり、桜が特別な木であることを感じさせられます。

さて、桜で彩る尾関山公園が、訪れる多くの方にとって特別な場所や思い出の一つになってほしいと願いを込めた活動、第13回尾関山ファンクラブ活動についてご案内をさせていただきます。

最下段にも記載していますが、4月22日に尾関山ファンクラブ活動を予定しています。当初は2月と3月で予定しておりましたが、コロナ禍により尾関山公園の伐採・剪定作業と合わせての活動は残念ながら自粛とさせていただきました。

今回の活動内容は、「作業（施肥と防虫）」と「歩きながら尾関山を考える会」を予定しています。尾関山を考える会とは何？と、皆さんの声が聞こえてきそうですが、尾関山ファンクラブ活動は今年で5年を迎え、また、2025年には尾関山公園が整備されて100周年になります。ファンクラブ活動5年の節目と、尾関山公園が100周年を迎えるにあたって、より良い尾関山公園を思い描かれる皆様のご意見を伺いたいと考えます。「この斜面にモミジを植えてはどうか？」「この木を活かしてシンボルツリーにしよう！」「ここに休憩場所があったら良い！」など自由な意見を皆で出し合ってみましょう！

第13回尾関山ファンクラブ活動に是非ご参加くださいますようお願いいたします！

■第13回尾関山ファンクラブ活動について

- 日時 : 4月22日（金曜日）9時半～12時
- 集合場所 : 尾関山公園 清心池付近（駐車場横）
- 作業内容 : 施肥や改良材投入、防虫作業ほか。
- 服装等 : 作業ができる服装、水分補給に飲み物をご持参ください。
また、コロナウイルス等の感染症対策として、
マスクの着用をお願いします。
- 駐車場 : 尾関山公園清心池近くの駐車場をご利用ください。



尾関山公園 ビフォーアフター



うっそうとした雑木を伐採！



カシを伐採し、開放的に！



祝橋や川がよく見えるようになりました！



木登り名人が二人！
どこかわかるかな？



今年も多くの方が楽しまれていました！



尾関山ファンクラブの地道な活動で尾関山のサクラはどんどん元気に！
「きれいだね」と会話しているのを聞くと涙が出そうになりました。笑
未来に残る尾関山を目指し、これからも活動を進めていきましょう！！